



2023年国民平和大行進が神奈川入り！ 7日は川崎大師公園～稲毛公園まで行進



大師公園を出発する神奈川平和大行進

5月7日（日）雨天の中、9：30から川崎市の大師公園で神奈川平和行進がスタートしました。出発集会では川崎原水協の伊藤事務局長による「核兵器のない世界平和をつくろう！」との力強い挨拶で始まり行進がスタートしました。行進は川崎大師参道・大師駅前を通過し、途中ふじさきクリニックでの休憩を挟む約2時間の行程で銀柳会商店街を抜け稲毛公園まで行われました。

大会長から「自信の被爆体験と広島で行われるG7広島サミットでの岸田総理の発言を非常に注目している。被爆国でありながらなぜ核禁条約に署名しないのか」と告発しました。また川崎医療生協の理事からは「健康であるのは平和であること、岸田内閣が進める敵陣に攻撃能力を持つことは日本国憲法の理念に反している。わたし達は、

初日の終着地稲毛公園での集会では川崎被爆者の会の



川崎大師商店街（左）と川崎駅近くの銀龍会商店街を行進する参加者

これに反対していく」と決意を表明しました。つづいて後藤まさみ日本共産党川崎市議は



神奈川平和行進初日に稲毛公園で行われた終結集会

「行進中に多くの方々の応援があり心強く感じました。共産党は市議会で川崎市長に核兵器の認識を問い『核兵器廃絶のため平和なことを推進していきたい』との市長の確認をとりました。」と報告。最後に畑野きみえ日本共産党前衆議院議員は「政府に一日も早く核兵器禁止条約への署名・批准を求め、ロシアのウクライナ侵略戦争を止めさせる。核で脅すことは許せない。」と強い口調で訴えて神奈川平和行進初日の終結集会を終わりました。

参加者は全体で84名、神奈川県南支部では須田執行委員・佐藤執行委員と合同分会の益山さん、にぐるま会は渋谷さんが参加しました。

ニュース㊤の原稿・写真の提供ともに佐藤章執行委員によります。